

株式会社ジェイメック 様

CASE STUDY

# FreshVoiceの導入で全社での情報共有が活性化 Web会議による接点の増加で地方拠点の人材発掘にも貢献

医療用レーザー機器や光治療器、美容機器などの輸入販売および製造開発を行っている株式会社ジェイメック。同社では本社（東京）のほかに札幌、名古屋、大阪、九州（長崎）の4カ所に拠点があり、幹部会議や各部門の定例ミーティングをする際に、出張コストがかかっていた。その削減のためFreshVoiceを導入。出張旅費の削減が実現していることに加え、従来の電話会議と比べ顔が見えるので、情報共有の活性化につながっている。



「気軽に遠隔地の拠点と会議できる手段ができ、情報共有がしやすくなったことが一番の効果だと捉えています」

総務人材開発室  
係長  
速石 和広 氏

## POINT

- 会議に出席するための出張旅費、移動時間が削減された
- 気軽に遠隔拠点とのミーティングができるようになり、情報共有が進んだ
- 柔軟な働き方ができる環境整備のきっかけの一つとなった

## ユーザー紹介

株式会社ジェイメック 様

JMEC 株式会社ジェイメック

<https://www.jmec.co.jp/>

1995年設立。医療用レーザー機器や光治療器、美容機器などの輸入販売、および一部開発製造を展開。そのほか、皮膚科向けの化粧品、最近はコンシューマ向けの美容機器も手掛けている。美容医療の世界では業界をけん引する存在として知られている。



肌画像カウンセリングシステムの「re-Beau 2」。写真にとることによって肌状態を客観的に見ることができ、カラー写真でもUV写真でも撮影が可能だ(左)。色素性皮膚疾患治療用レーザーの「The Ruby nano\_Q」。独自技術のカライドスコープによるレーザー出力で高い治療効率・副作用の軽減を実現する。

## 医療用レーザー機器など美容医療機器を全国に販売

人生100年時代を迎えつつある今、女性はもちろん、男性にとってもアンチエイジングに関心が高まっている。「医療と美容の融合を通じて、人々の『美と健康』への願いを実現します」——というミッションを掲げるジェイメックは、皮膚科や形成外科などの医療機関向けにシミやそばかす、ほくろなどの皮膚疾患を治療するための医療用レーザー機器や光治療器、美容機器などの輸入販売、および製造開発を展開している。

製造開発も行っている同社だが、輸入した製品の卸売り・販売を主体としている。日本全国の皮膚科、形成外科に同社製品を販売するため、本社（東京）のほかに、札幌、名古屋、大阪、九州（長崎）に営業所を設置。九州の拠点には研究開発センターも置いている。

## 電話会議システムでは会話がうまく進行しない

ジェイメックでは毎月1回、各地方における営業状況を共有するために幹部会議を開催しているが、会議のあり方に課題を感じていたという。「各拠点の幹部が本社に集まるのですが、

往復の交通費と宿泊代がかかってしまいます。その出張コストを削減したいということもありましたが、何より移動により幹部の方の時間が拘束されるのがもったいないという声が大きかったです」

こう語るのは、総務人材開発室 係長でIT化推進も担当している速石和広氏である。拠点をまたがって行われる会議は幹部会議だけではない。各部門の定例ミーティングや本社の技術開発室と研究開発センター、およびベンダーを交えた開発会議はその代表例だ。開催する度に1カ所に集まって会議をするのは難しい。そこで同社ではかなり以前から電話会議システムを導入し、また一部の部署ではSkypeを活用していたが、様々な課題が出てきたと速石氏は語る。「電話会議の最大の欠点は、表情が見えないため発言が被ってしまうことがあり、会議がスムーズに進まないことです。通話が途切れることもありました。Skypeも同様で、通話が途切れる、画像が鮮明ではないので表情が見えないなどという問題がありました」

### 実際の使用環境で複数拠点をつないだデモが決め手

当初はテレビ会議システムの導入を検討するが、「環境構築に時間がかかること、導入、ランニングコストがかなりかかるので、当社の実情に見合わないと思い断念しました」と速石氏。

より簡単かつ安価に導入できるシステムとして選んだのが、Web会議システムである。自社でシステムやアプリケーションを保有・管理する必要のないASP型のWeb会議システムであれば、導入する手間やコストも大幅に削減できる。そこでWeb会議システムを提供しているベンダー複数社に声をかけ、デモを見せてもらうことに。比較検討した結果、FreshVoiceを選定した。

その理由について速石氏は次の様に語る。「気にしていた音の安定性が、複数拠点の会話でも違和感がありませんでした。映像も問題なく美しい。価格もイニシャル、ランニングコスト共に満足いくものでした。そして一番の決め手となったのは、デモを行うまでの営業の方のサポートでした。私たちは最大5拠点をつなぐ予定でしたが、私たちがお願いした状況のデモを実現してくれたのはエイネットだけでした」

### 最大の効果は全社で情報共有がしやすくなったこと

FreshVoiceの活用が始まったのは2018年1月。「導入にあたり、必要な機材一式を営業の方が提案してくれました。手厚いサポートがありがたかったですね」と速石氏は満足そうに話す。

現在、FreshVoiceは幹部会議や各部門の定例ミーティング、九州にある研究開発センターとの会議などに利用されており、その頻度も徐々に上がっているという。

「現在は週に2回以上はFreshVoiceで会議が行われています。まだ活用を始めたばかりですが、出張旅費はもちろん、移動時間の削減効果が出てきています。気軽に遠隔地の拠点と会議できる手段ができたので、全社で情報共有がしやすくなったことが一番の効果だと捉えています」

またFreshVoiceが導入されたことで、本社主導のプロジェクトのメンバーに地方拠点の社員が選ばれることも出てきたという。「地理的な制約がなくなり、人選の障害がなくなりました」

### 社員全員が柔軟に働ける環境への第一歩に

今後、FreshVoiceをさらに活用していきたいと速石氏は意気込む。「資料共有機能の使用も考えています。カメラやネットワークの性能が上がれば、機械の形状や色などが画面を通してリアルタイムに確認できるため、デザイン会議などにも使えるのではと思っています。今後はスマートフォンでの活用も検討しています」

速石氏はFreshVoiceの導入が働く場所の制約をなくすきっかけの1つになるのではと考えている。「当社は美容医療機器を扱っているため、女性の社員も多い。女性には出産や育児というライフステージがあります。また男女にかかわらず、介護というステージもある。どんなステージでも柔軟に働ける環境づくりに取り組んでいきたいと考えています」

さらなる柔軟な働き方ができる環境を目指し、ジェイメックの取り組みはこれからも続く。



エイネット株式会社

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-23スタウトビル3F

代表:03-3862-5402

つなごうミーティング

☎ 0120-275-319

E-mail [fv@anets.co.jp](mailto:fv@anets.co.jp)

<http://www.freshvoice.net>

FRESH VOICE  
TV Conference 